



図3 (観察者)氏 撮影.

2000年以降

- たつの市新宮町光都, 1ex, 23. V. 2008. 清水哲哉撮影 (文献3)
- 赤穂市上飯屋, 2幼虫, 8. VI. 2014. 広畑政巳採集 (文献3)
- 宝塚市川面, 1♂, 20. V. 2017. 遠藤知二・浅野リサ採集 (文献6)
- 加古川市平荘町, 1♂, 5. V. 2018. 岡田善嗣採集 (文献4)
- 西宮市甲山町兵庫県立甲山森林公園内, 1ex, 27. VIII. 2019. 一本松正道採集 (文献6)
- 伊丹市昆陽池, 1♀, 1卵, 18. V. 2019. 大櫃成章ほか (文献5)
- 宝塚市武庫山, 1♀, 10. V. 2019. 波川光男採集
- 西宮市甲山町兵庫県立甲山森林公園内, 1ex, 14. V. 2020. 阿部遙希・阿部翔太採集
- 芦屋市前田町, 1ex, 29. V. 2020. 匿名氏撮影
- 神戸市灘区摩耶山, 1♂, 8. VI. 2020. 平野心平採集 (文献7)

○参考文献

- (1) 福田晴夫ほか, 1982. 原色日本蝶類生態図鑑 (I). 保育社
- (2) 広畑政巳・近藤伸一, 2007. 兵庫県の蝶
- (3) 広畑政巳, 2016. 兵庫県におけるミカドアゲハの記録. きべりはむし, 39(1): 42-43.
- (4) 岡田善嗣・近藤伸一, 2018. ミカドアゲハを兵庫県加古川市内で採集. きべりはむし, 41(1): 26.
- (5) 大櫃成章ほか, 2019. 兵庫県伊丹市におけるミカドアゲハ(チョウ目, アゲハチョウ科)の記録. 伊丹市昆虫館研究報告, 8: 25-26.
- (6) 神吉正雄, 2020. 阪神間におけるミカドアゲハの記録2例. きべりはむし, 43(1): 57-58.
- (7) 平野心平, 2020. 神戸市内におけるミカドアゲハの記録. 月刊むし, 598: 26-27.

(Shinichi KONDO 兵庫県朝来市)

オオツバメエダシャク兵庫県に産す

久後地平

2020年6月14日午後10時ころ, 兵庫県神崎郡市川町屋形の播但連絡自動車道路サービスエリアで見慣れない大きなシャクガを見つけて採集した. 採集地点は, サービスエリアの地下道西出入口付近で, 位置情報はN: 35.025188, E: 134.765974である. 地下道の天井に設置された金属板にぶら下がるようにして静止していた(図). 写真を兵庫県立人と自然の博物館の八木剛さんに見ていただいたところ, オオツバメエダシャク *Amblychia angeronaria* Guenée であるのご教示いただいた. 本種は南方系の蛾であり, 本州では奈良県, 三重県, 和歌山県において記録があるものの, 兵庫県においてはこれが初めての発見であると思われる. このサービスエリアは落葉広葉樹林の山麓に位置しており, 過去にシンジュキノカワガの目撃情報もある. なお, この標本は筆者が所蔵している.



図 静止していたオオツバメエダシャク.

(Chihei KUGO 姫路市)

ニセタバコガを兵庫県養父市丹戸で採集

坪田 瑛

ニセタバコガ (*Heliocheilus fervens*) はヤガ科・タバコガ亜科のガで, その分布は北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬, アムールとなっているが, その産出は局所的で一般に個体数は少なく本県では段ヶ峰, 摩耶山, 関宮町, 宝塚市などで記録されているのみである (山本, 1997). 筆者は2020年8月16日に兵庫県養父市で本種♀1個体を採集したので報告する.

当日, ライトトラップを行った場所は同市丹戸の標高約1,050mの地点である. 22時50分頃に一頭の赤褐色の本種がトラップの下に敷いた白布にいるのを見つ

けた。その時の生態写真が図1である。採集の際、後翅に白色ないし淡黄色の丸い紋が見えたのでニセタバコガかもしれないと思いつつ展翅した。図2および3はその展翅標本の表裏の写真であり、紛れもなくニセタバコガ♀である。その開張は図3に示す様に30mmであっ



図1 ニセタバコガの生態写真。



図2 ニセタバコガの展翅写真(表側)。



図3 ニセタバコガの展翅写真(裏側)。

た。

図鑑やインターネットで見られる本種の前翅の色調は暗褐色であるが、今回の採集品は図1に示しているように赤褐色であり採集時にはアカフヤガと見間違える様な色調であった。

本種の画像は図鑑以外では阪本(2018)に展翅写真が記載されているが生態写真は無い。

○参考文献

井上寛・杉原郎他, 1982. 日本産蛾類大図鑑, 講談社.
阪本優介, 2018. 蛾類学会コラム 13. 朝霧高原調査報告書. (<http://www.moth.jp/archives/1021>)

(Teru TSUBOTA 兵庫県神崎郡市川町)

ハチ北高原における *Eudocima* 属 2 種の記録

池田 大

筆者は兵庫県香美町のハチ北高原において、南方系の *Eudocima* 属として知られる 2 種を同時に採集しているので報告しておく。

1. ヒメアケビコノハ *Eudocima phalonia* (Linnaeus, 1763)

1 ♂ (図 1), 兵庫県美方郡香美町村岡区 ハチ北高原 Alt. 880m, 灯火, 1. IX. 2020, 筆者採集・保管

県下では鉢伏山の記録が知られている(一ノ本・永瀬, 2000; 松尾, 2020)。

2. キマエコノハ *Eudocima salaminia* (Cramer, 1777)

1 ♂ (図 2), 採集データは前種と同じ

2004 年に今回と同地であるハチ北高原(岡本, 2010) から記録があるほか、県下では朝来市段ヶ峰(松尾, 2010), 養父市鉢伏山(一ノ本・永瀬, 2000; 松尾, 2020) の記録が知られている。



図1 兵庫県産ヒメアケビコノハ。



図2 兵庫県産キマエコノハ。

灯火採集は 2020 年 8 月 31 日から翌 9 月 1 日にかけて実施。終始ガスに包まれ、霧雨の降る天候であった。なお両種を確認したのは共に午前 4 時頃であった。これら南方系の種が県北部のブナ帯であるハチ北高原及び鉢伏山において度々採集されていることは興味深い。